

Guggenheim PartnersがFactSet DMS を活用したデータインフラストラクチャを構築

費用対効果が高く柔軟なソリューションは、規制当局への報告やコンプライアンス、またエンティティや銘柄のマスター管理に適した発行体-エンティティデータベース構築を提供します。



AUM

2,600億ドル

企業タイプ

多様な金融サービスを提供する企業

課題

信頼できるデータインフラストラクチャーの欠如

ファクトセットソリューション

FactSet Data Management Solutions (FactSet DMS)

「以前は、持株会社とのプロジェクトの中で、持ち株会社の傘下にある子会社の特定ができないことがあり、重要な機会やコントロールポイントを見逃している可能性があります。」とSummerは述べています。

課題

発行体-エンティティデータベースを構築するためのインフラストラクチャーが欠如

Guggenheim Partnersは、世界中のクライアントに特別な価値を生み出す多様な金融サービスを提供する企業です。投資銀行業務や証券業務の拡大に伴い、アプリケーション開発部門のマネージングディレクターであるLouis Celibertiが、法的な親子関係や、売買可能な証券、及びそれらの関係性を特定するためのシステムインフラストラクチャーの構築を任せられることになりました。そして、ビジネスインテグレーション部門のマネージングディレクターであるJonathan Summerは、Celibertiと共に、自社のニーズに沿った新システムの構築を担当することになりました。

「以前は、持株会社とのプロジェクトの中で、持ち株会社の傘下にある子会社の特定ができないことがあり、重要な機会やコントロールポイントを見逃している可能性があります。」とSummerは述べています。

Guggenheimでは、上場企業、未上場企業を問わず、広範囲にわたるエンティティの特定が可能なソリューションや、これらのエンティティが発行した売買可能な証券と親会社であるエンティティとを紐づける方法を模索していました。

FACTSET > SEE THE ADVANTAGE

ソリューション

ファクトセットをエンティティデータベースの基本として活用

CelibertiとSummerは、自社のリーガルエンティティマスターのためのデータを提供するベンダーの調査を実施しました。「どのような企業があるかを内部で聞き取りし、いくつかのベンダーに絞り込みました。弊社のバンカーは、当時ファクトセットのフロントエンドツールを使用していたため、ファクトセットも候補に含めました。」とCelibertiは当時を振り返ります。

「私たちは、リーガルエンティティと売買可能な証券の繋がりを検索、また維持するための作業を最小限にするためのソリューションを探していました。そして、サービス中心のアーキテクチャと様々な作業をこなすアプリケーションを保有していました。その中核として、自社システムにはリーガルエンティティ、売買可能な証券に関する正確で広範なデータとそれぞれのマッピングが必要でした。」とSummerは述べています。

長期にわたって高い信頼性のある複数のベンダーとディスカッションを行い、トライアルをした結果、ファクトセットが突出していたのは明らかでした。「ファクトセットは、必要なカバレッジとデータストラクチャーを、コストの範囲内で提供してくれました。」とSummerは述べています。

Guggenheimは、リーガルエンティティマスターにFactSet Data Management Solutions DataFeedの採用を決めました。ファクトセットの包括的なエンティティコンテンツは、Guggenheimの発行体-エンティティデータベース構築の枠組みに適合していました。リーガルエンティティと売買可能な証券の特定に加えて、企業間の階層的関係性や関連会社の関係性を理解するために必要な基盤も提供しています。

「バンカーが製薬会社のプロジェクトを進めている時、FactSet DMSを使用すると、瞬時に売買可能な証券を特定することができます。我々は、その証券に関する重要かつ非公開の情報を持っている可能性もあります。また、ファクトセットは他のプロジェクトの有無や今後のディールにおける利益相反を引き起こす可能性を示す証券の保有の特定にも役立ちます。」とCelibertiは述べています。

「営業やトレーディングの観点からは、新規顧客の口座を開設する際に、ファクトセットデータを顧客の確認に使用しています。その他、関心があるエンティティに何らかの変化があった場合、その特定にもFactSet DMSを使用して、対応を必要とする人たちにお知らせしています。例えば、取引相手の法人名、企業構造、住所などが新しく変わった場合、自動的に新規のアカウントグループにその情報を伝えることができます。」とSummerは述べています。

「FTPファイル配信の仕組みはわかりやすいですね。遅延が発生することはほとんどありませんが、問題が発生した場合には適切な通知が送られてきます。フィードがファクトセットとうまく連動していると思います。」

Guggenheimは、ファクトセットから受ける質の高いサービスを高く評価しています。ファクトセットは、Guggenheimの従業員用にウェブベースのポータルを作成し、データフィードバックやカバレッジのリクエストを受け付けています。「Guggenheimには、日々リーガルエンティティや売買可能な証券を取り扱う一握りのパワーユーザーがいます。ファクトセットは、彼らが直接カバレッジリクエストやデータフィードバックを行うことができるチェックインシステムを構築しました。ほとんどのリクエストに即座に答えてくれ、あらゆる問題やフォローアップの質問を簡単に追跡することができます。」

技術的な観点で見て、データは完璧に統合されています。「FTPファイル配信の仕組みはわかりやすいですね。遅延が発生することはほとんどありませんが、問題が発生した場合には適切な通知が送られてきます。フィードがファクトセットとうまく連動していると思います。」



結論

エンティティと証券の紐付けをサポートする信頼できるデータインフラは、予想以上のアドバンテージ

多岐に渡る金融サービス企業として、Guggenheimは当初の予想をはるかに超えて、FactSet DMSに価値を見出しています。「規制当局への報告やコンプライアンスでも、まったく異なるシステムからのデータ、特に組織全体の株式保有データをまとめる必要があります。FactSet DMSによってその紐づけができるというのは非常に有益です。」と言うSummerは次のようにも述べています。

「LEIについてのニュースを読んで、これは業界に大きな変革をもたらすものだと思います。Louisと私は、クスッと笑ってしまいました。これについてはFactSet DMSですでに実感していますから。」

SummerとCelibertiは、自社でFactSet DMSの果たす役割が拡大するのを期待しています。「我々はGuggenheim Securitiesのビジネスを積極的に拡大していきます。ファクトセットがその成長をサポートしてくれるのは本当に嬉しいことです。」